

CSAJ 活動 pickup

2018年7月～2018年12月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2018年7月～2018年12月

2018年7月から2018年12月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

内容

政策提言・意見交換	2
視察・海外出展	4
イベント	9
ビジネスマッチング	13
情報提供セミナー・説明会	14
ニュースリリース	30
報告書	32
実施事業	33

政策提言・意見交換

平成 30 年 7 月 5 日 (木)

経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課と IT 導入補助金申請手続き等に関する意見交換会を実施

平成 30 年 7 月 5 日 (木)、CSAJ 会議室にて、IT 導入補助金申請手続き等について、経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課と意見交換を行いました。(経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課 1 名、CSAJ 側 14 名)

本意見交換では、IT 導入補助金申請手続き等を行う上での支援事業者と補助事業者が抱える課題と改善要望を伝え、今後の運用改善の参考としていただくよう意見交換を行いました。

平成 30 年 8 月 29 日 (水)

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課と定例意見交換会を実施

平成 30 年 8 月 29 日 (水)、山王健保会館にて、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課との定例意見交換会を行いました。(参加：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 13 名、CSAJ 側 11 名)

本意見交換会は、定期的に CSAJ 幹部(会長・副会長等)と経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課が情報や課題等を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回経済産業省からは、コネクテッド・インダストリーズ税制やデジタルトランスフォーメーションの推進に向けた対応策、サービス等生産性向上 IT 導入支援事業や第四次産業革命スキル習得講座認定制度などについて説明がありました。CSAJ 側からは、CSAJ を取り巻く課題とその対応・要望として、制度変更への対応(改元や消費税増税等)や FinTech への対応、中小企業への IT 導入の推進やサイバーセキュリティ対策の強化、キャッシュレス化への対応などについて説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

平成 30 年 8 月 30 日 (木)

日本 IT 団体連盟へ政策要望を提出

年払い利用料における消費税の取扱い、銀行法の改正、サイバー情報セキュリティ技術検証基盤の環境整備、公立学校の IT の導入・利活用への地元 IT 企業の育成・支援、利用者指向の高品質ソフトウェア開発の促進、ベンチャー・創業支援としてのセキュリティ準備金の創設、などについて、政策委員会で要望をとりまとめ、平成 30 年 8 月 30 日 (木)、日本 IT 団体連盟へ政策要望として提出しました。

平成 30 年 9 月 6 日 (木)

経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課と IT 導入補助金申請手続き等に関する意見交換会を実施

平成 30 年 9 月 6 日 (木)、CSAJ 会議室にて、IT 導入補助金申請手続き等について、経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課と意見交換を行いました。(経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課 2 名、CSAJ 側 7 名)

本意見交換では、IT 導入補助金申請手続き等を行う上での支援事業者と補助事業者が抱える課題を踏まえ、今後の運用改善の方向性について、意見交換を行いました。

政策提言・意見交換

平成 30 年 10 月 1 日 (月)

経済産業省商務情報政策局長との昼食会を開催

平成 30 年 10 月 1 日 (月)、山王健保会館にて、平成 30 年度に新たに着任された西山 圭太 商務情報政策局長をはじめとした経済産業省関係者と CSAJ 幹部陣との昼食会を開催し、CSAJ 側からの政策要望等をお伝えするとともに、情報交換を行いました。(経済産業省 商務情報政策局 7 名、CSAJ 側 10 名)

平成 30 年 11 月 15 日 (木)

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) と定例意見交換会を実施

平成 30 年 11 月 15 日 (木)、アルカディア市ヶ谷にて、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) との定例意見交換会を行いました。(参加：IPA11 名、CSAJ 側 11 名)

本意見交換会は、定期的に CSAJ 幹部 (会長・副会長等) と IPA が情報や課題を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回 IPA からは、第 4 期中期計画に向けた活動方針、社会基盤センターの取組み、IT 人材育成センターの取組み、セキュリティセンターの取組み、産業サイバーセキュリティセンターの取組みなどについて説明がありました。CSAJ 側からは、創造プロジェクトやデータ適正消去実行証明書発行事業、U-22 プログラミング・コンテストやスタートアップ支援事業、Software ISAC の活動、PSQ 認証における新制度、iCD の今後の展開などについて説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

平成 30 年 12 月 4 日 (火)

経済産業省へ「デジタル・プラットフォーマーを巡る取引環境整備に関する検討会」中間論点整理 (案) に対する意見を提出

透明性及び公平性の確保やデジタル・プラットフォーマーに対する法的評価の視点、イノベーションの担い手として負うべき責任の設計 (業法の在り方等)、公正かつ自由な競争の再定義、データの移転・開放ルールの検討について、法務・知財委員会で意見をとりまとめ、平成 30 年 12 月 4 日 (火)、経済産業省 商務情報政策局 情報経済課へ提出しました。

平成 30 年 12 月 26 日 (水)

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 社会基盤センターと DX 推進のための既存モデル契約改訂に関する意見交換会を実施

平成 30 年 12 月 26 日 (水)、IPA 会議室にて、DX 推進のための既存モデル契約改訂について、IPA 社会基盤センターと意見交換を行いました。(IPA 社会基盤センター側 4 名、CSAJ 側 4 名)

本意見交換では、経済産業省が平成 20 年 4 月に策定・公表したモデル取引・契約書<追補版>や、同じく経済産業省が平成 30 年 9 月 7 日に策定・公表した DX レポート～IT システム「2025 年の崖」の克服と DX の本格的な展開～をもとに、契約形態の変遷や民法改正などを踏まえた課題の共有、セキュリティの重要性等について、意見交換を行いました。

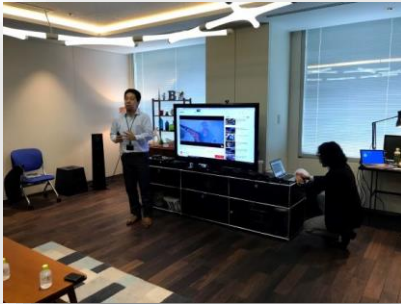
視察・海外出展

平成 30 年 7 月 3 日 (火)

AR/MR/VR アプリ開発技術視察 (主催: モバイルソリューション研究会)

モバイルソリューション研究会では、MR に取組む日本マイクロソフト(株)及び VR に取組む株式会社フォーラムエイトへ訪問し、最新デバイスやシミュレータの視察を行いました。(参加 7 名)

■日本マイクロソフトでの HoloLens 体験



■フォーラムエイトでの最新シミュレータ体験



MR コンテンツ体験と VR アプリ開発に関する最新技術と動向を同時に学ぶことのできる有意義な視察となりました。

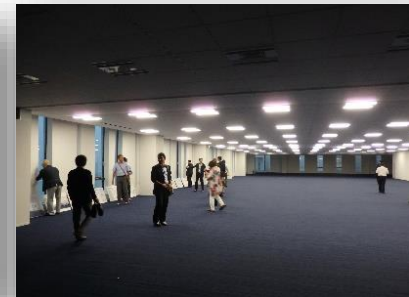
視察・海外出展

平成 30 年 7 月 6 日 (木) ~7 日 (金)

エグゼクティブセミナー (主催: 交流委員会)

平成 30 年 7 月 6 日(金)~7 月 7 日(土)の 2 日間、CSAJ 会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナー in 長崎~IT が創る・支える・変革する「地方創生」~」が、長崎県・長崎県立大学・一般社団法人長崎県情報産業協会・公益財団法人長崎県産業振興財団のご協力をいただき、長崎県で開催されました。

CSAJ からは、筆頭副会長をはじめ 30 社・団体/40 名が参加し、大変盛況な中、無事終了しました。

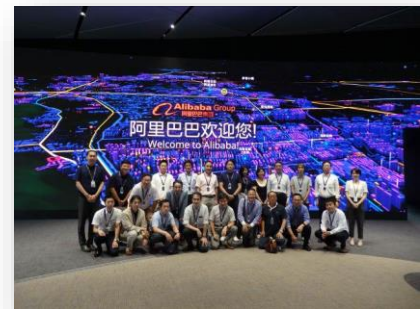


平成 30 年 7 月 22 日 (日) ~26 日 (木)

中国視察ツアー (主催: アジアビジネス研究会)

アジアビジネス研究会では、中国で急成長中のテンセント社、アリババ社訪問を中心とした視察ツアーを実施いたしました。(15 社 16 名)

ゲームを軸にチャットや Fintech を取り込み急速に成長したテンセント社をはじめ、電子決済を活用した無人店舗やシェアリングカーの実運用が進む深セン、および、「独身の日」には 1 日で 2 兆円の売り上げを記録し、さらに IoT や AI を取り入れたプラットフォームを展開するアリババ社を訪問してまいりました。



中国視察ツアー報告書

<http://www.csaj.jp/NEWS/committee/asia/20180830.html>



視察・海外出展

平成 30 年 7 月 27 日 (金)

日中情報サービス産業懇談会 (主催：CSIA (中国ソフトウェア産業協会)) への参加

経済産業省、日本企業からの講演や、CSIA 常務理事 周密氏をモデレータに BCN 奥田会長や CAC 大須賀理事など数名によるパネルディスカッションで、“「日本+中国+x」の新しい協業モデルへ”が議論されました。(2社2名/事務局長)

アウトソーシングやオフショアという従来通りの内容以外に、中国という大きな市場で実証実験を行う、いわゆるサンドボックスとしての考え方が示され、日本のさまざまな規制の中ではなく、中国の人口の多さ、早期にリリースし運用で修正していくという大らかさから“「日本+中国+x」の新しい協業モデル”が見えたように感じました。



平成 30 年 9 月 7 日 (金) ~8 日 (土)

CSAJ/山梨 ICT 共催「心と身体の健康づくり」体験イベント (共催：健康経営推進研究会/働き方改革研究会/農業 ICT 研究会)

CSAJ 健康経営推進研究会/働き方改革研究会/農業 ICT 研究会と、NPO 法人山梨 ICT・コンタクト支援センターの共催による「心と身体の健康づくり」体験イベントが開催され、計 13 名が参加しました。

本イベントは、地方のシェアオフィスを活用する「働き方改革」、農作業体験による会員企業の「心と身体の健康づくり対策」、さらに ICT 技術を活用した果樹栽培の現状視察を盛り込んだ複合イベントとして、参加者は内容の濃い 2 日間を過ごされました。

■実施レポート

http://www.csaj.jp/NEWS/committee/mhealth/180907_yamanashi_report.html



視察・海外出展

第5期 若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修 (主催：技術委員会)

参加説明会&壮行会

開催日：平成30年10月11日(木) 16:00~20:00、会場：市ヶ谷健保会館
参加者：研修者20名、聴講8名
概要：海外研修全体の説明が行われ、参加者各自1分間の自己紹介を全員の前でプレゼンテーションを実施。終了後には技術委員会を含む聴講者や研修参加者間の相互交流を開催。

海外研修

日程：平成30年10月27日(土)~11月4日(日) 9日間
場所：米国ロサンゼルス Torrance
参加：22名
概要：

日程	研修
10月27日	ロサンゼルス到着 オリエンテーション
10月28日	英語グループレッスン 英語ハンズオンラーニング アメリカ先進技術講義 (ICT,IoT,IT ビジネス講義) InterBusiness Corporation 社 Noguchi Docker,Blockchain,Big Data,IoT,AI など ITトレンド、国際ビジネス、アメリカ、日本の現状についての講義
10月29日	英語グループレッスン 英語ハンズオンラーニング 英語グループレッスン
10月30日	企業訪問1 訪問先：FIJITSU GLOVIA INC. 企業訪問2 訪問先：Google Venies、Yahoo、YouTube Space、Microsoft
10月31日	アメリカ先進技術講義 スマートデバイス UI/UX 設計・開発を専門とする Jordan 氏によるアメリカの開発手法やフィロソフィーについての講義 アジャイル開発ハンズオンラーニング 1 アジャイル開発ハンズオンラーニング 2 California Science Center 見学
11月1日	自由行動
11月2日	IT 技術講義 NASA ジェット推進研究所 Ishimatsu 氏 UCLA(University of California, Los Angeles) 内 UCLA フィールドトリップ 異文化コミュニケーション/グローバルビジネス講義：元 Unisys 社 Yamaguchi 氏 成果報告会
11月3日	ロサンゼルス出国
11月4日	帰国

プレゼンテーション報告会

開催日：2018年11月22日(木) 報告会 14:00-17:00 懇親会 17:00-19:00 山王健保会館会議室
参加者：プレゼンテーション側22名、聴講側24名
概要：22名を5チームに分け、チームプレゼンテーションを実施。聴講側には技術委員会を含むマネジメント層及び第1期~第3期研修参加者が参加し、各チームのプレゼンテーションに対して評価を実施。終了後にはプレゼンター、聴講者を含めたコミュニティを形成するための懇親会を開催。

視察・海外出展

平成 30 年 11 月 21 日 (水)

静岡県袋井市・磐田市圃場視察 (主催：農業 ICT 研究会)

平成 30 年 11 月 21 日 (水)、静岡県袋井市及び磐田市の圃場を視察致しました。(7 社 11 名)

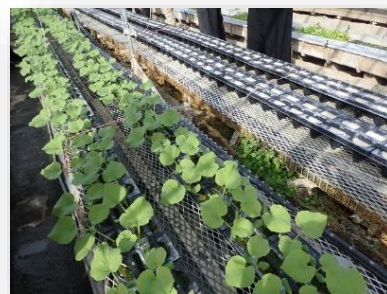
■当日スケジュール

10:00	JR 掛川駅南口集合・出発
10:40~11:20	近藤農園視察
11:30~12:10	大野農場視察
12:20~13:00	どんどこあさば着・昼食
13:40~14:30	静岡県農林技術研究所視察
15:00~16:30	スマートアグリカルチャー磐田視察
17:40	JR 掛川駅着・解散

農家の圃場から企業として農業に取り組んでいる施設まで幅広く現状を目の当たりにし、高齢化や自然環境の変化など多くの課題を抱える日本の農業において、様々な面での ICT の利活用の可能性が大いに感じられる視察でした。

○静岡県袋井市・磐田市圃場視察 終了報告

http://www.csaj.jp/NEWS/committee/agriict/181121_report.html



イベント

平成 30 年 9 月 12 日 (水)

CSAJ 会員交流会 (主催: 交流委員会)

平成 30 年 9 月 12 日 (水)、恒例の「CSAJ 会員交流会」が、東京渋谷区の「原宿 東郷記念館」で、開催されました。

昨年に引き続き東郷記念館で開催し、163 名の会員の皆様にご参加いただきました。

今回も、交流委員会副委員長の村瀬正典理事の司会・進行で、最初に荻原紀男会長より開会のご挨拶をいただき、続いて田中邦裕副会長より新しく発足する「プロジェクトみらい(仮)」への参加募集のお話などを含めた乾杯のご発声で、会はスタートしました。和やかな雰囲気の中、情報交換やご挨拶、お知り合いのご紹介など活発な交流が行われました。会の中盤では、会員企業様のご提供による豪華賞品の抽選会で大いに盛り上がりました。

中締めは、伊藤裕二副会長による三本締めが行われ、盛況の内に幕を閉じました。



イベント

平成 30 年 10 月 16 日 (火) ~19 日 (金)

CEATEC JAPAN 2018 開催報告

「CPS/IoT の総合展」に生まれ変わった CEATEC JAPAN は、昨年を上回る出展者や登録来場者が集い、展示、コンファレンス共に、成功裏に終えることができました。

主催 3 団体 (CSAJ、JEITA、CIAJ) 特別企画による「IoT タウン」では、CSAJ からは豆蔵ホールディングスグループが出展。IoT 等の出展内容から、世耕経済産業大臣をはじめ非常に多くの来場者がブースを訪れました。

全出展社数 725 社/団体 (2017 : 667 社/団体)
小間数 1,786 小間 (2017 : 1,758 小間)
来場者 156,063 名 (2017 : 152,066 名)

■ CSAJ 企画カンファレンス

- ・ 10/17 (水) 「IoT 開発におけるセキュリティ」
150 名/150 名定員
- ・ 10/18 (木) 「民主化される VR/AR~最新動向と開発手法について~」 143 名/150 名定員
<http://www.csaj.jp/NEWS/committee/mobile/181018.html>
- ・ 10/18 (木) 「VoiceUI のデザインと音声サービスの勘所」
165 名/150 名定員
- ・ 10/19 (金) 「IoT で新たな市場を創造するスタートアップ企業紹介」 92 名/150 名定員

http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20181019_report.html

平成 30 年 11 月 17 日 (土)

第 9 回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催 : 交流委員会)

平成 30 年 11 月 17 日 (土)、CSAJ 第 9 回会長杯親睦会 (交流委員会主催) が「グリッサンド GC」で開催されました。

当日はさわやかな秋晴れの中、過去最高の総勢 48 名の皆様にご参加いただきました。

はじめに、荻原会長の挨拶があり、そのあと交流委員の北原理事より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。その後、OUT コース、IN コースに分かれて、プレーが開始されました。

皆さま日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。



イベント

平成 30 年 11 月 6 日 (火)

台湾 CISA/CSAJ 企業交流会 (主催：アジアビジネス研究会)

中華民国情報サービス産業協会(CISA)が「ASOCIO Summit」のために来日され、11月6日(火)に台湾企業の方々と共に CSAJ に来協されましたので、CSAJ アジアビジネス研究会メンバーとの企業交流会を以下の通り開催しました。

開催日時：平成 30 年 11 月 6 日 (火) 14:00~15:30

会場：CSAJ 会議室

参加実績：CISA 訪日企業等(29 名)、CSAJ アジアビジネス研究会メンバー企業等(6 名)、事務局

初めに、原洋一理事・事務局長から来協歓迎の挨拶と CSAJ の説明があり、続けて吉田一也理事・アジアビジネス研究会主査より研究会の活動についてご説明いただきました。

続いて、中華民国情報サービス産業協会(CISA)の張栄貴理事、および、台湾經濟部工業局 主任秘書の陳氏 (Pei-Li Chen) よりご挨拶をいただきました。その後、お互いの記念品交換を行い、交流会は無事終了いたしました。



イベント

平成 30 年 11 月 27 日 (火)

第 7 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会 (主催：総務委員会)

平成 30 年 11 月 27 日 (火)、平成 30 年度上半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 7 回懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、19 社/29 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 49 名の参加と盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの 1 分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中、豊田副会長の中締めで終了しました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

アライドテレシスアカデミー株式会社
株式会社 Information Plus-T
エブリセンスジャパン株式会社
株式会社オークシステムソリューションズ
株式会社クリエイション
株式会社 Shade3D
株式会社セントジェームズアソシエイツ
株式会社 TBT ソリューションズ
株式会社デジック
東海ビジネスサービス株式会社
株式会社ドライビングフォース
株式会社ファイン
福井コンピュータホールディングス株式会社
プライシス株式会社
フルタニ産業株式会社
リアルネットワークス株式会社
株式会社 Y メディカル
一般社団法人 iCD 協会
学校法人大原学園



荻原会長のご挨拶



懇親会場の様子



自社紹介をする参加企業の方々



中締めの挨拶：豊田副会長

ビジネスマッチング



第 129 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけただけことを目的とした交流会

開催日時：平成 30 年 10 月 24 日 (火)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：27 社 41 名

プレゼンテーション 1：[フィデル・テクノロジーズ株式会社](#)

発表製品分類：ソフトウェア・ソリューション

発表製品名：LINGUIFY

プレゼンテーション 2：[株式会社バイタルロード](#)

発表製品分類：除雪車両位置情報管理システム・道路異常個所連絡管理システム

発表製品名：ゆきぞう、みつけたぞう

プレゼンテーション 3：[株式会社 ZenmuTech](#)

発表製品分類：秘密分散技術によるデータの無意味化（データを意味の形に分割して分散管理）ソリューション

発表製品名：ZENMU for PC および ZENMU Engine

プレゼンテーション 4：[株式会社イーグリッド](#)

発表製品分類：車両位置情報、挙動記録サービス・防災位置情報記録サービス

発表製品名：カーテレマティクスサービス・GRLOCO（ジーアールロコ）



CSAJ/JIET/JASPA/IVIA/CHISA 共催 ビジネスマッチング商談会

(主催：交流委員会)

CSAJ と日本情報技術取引所 (JIET)、全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA)、IT 検証産業協会 (IVIA)、公益社団法人千葉県情報サービス産業協会 (CHISA) の 5 団体共催によるビジネスマッチング商談会を開催

開催日時：平成 30 年 10 月 12 日 (金) 会場：山王健保会館 会議室

参加実績：111 名



情報提供セミナー・説明会

総務

第1回ワークショップの実施 (主催：プロジェクトみらい(仮))

会社の枠を超えてソフトウェア業界を動かす未来のキープレイヤーが交流できる会、「プロジェクトみらい(仮)」の第1回ワークショップが下記日程にて開催されました。

開催日：平成30年10月23日(火)、会場：さくらインターネット株式会社西新宿セミナールーム、

参加実績：23社23名

テーマ：「お互いを知ろう！」

概要：自己紹介、グラフィックレコーディングをとり入れたインスピレーショントーク、「野望を実現するには」を題目としたグループディスカッション、参加者同士の交流を中心に今後の活動についての意見交換。



情報提供セミナー・説明会

政策

施行予定まであと1年！消費税 軽減税率制度に関する説明会 (主催：軽減税率対応 WG)

開催日：平成30年9月20日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：14社17名

タイトル1：消費税 軽減税率制度の説明と対策について

講演者：加藤 博之 氏 (財務省主税局税制第二課 課長補佐)

講演概略：平成31年10月1日から、消費税率の引上げと併せて軽減税率制度が実施されることを踏まえ、制度概要の説明と適格請求書等保存方式(いわゆる「インボイス制度」)を解説。

タイトル2：まだ間に合う！軽減税率対策補助金の活用について

講演概略：消費税軽減税率制度に係る事業者支援措置である消費税軽減税率対策補助金について説明。



第31回経営力向上セミナー (共催：経営力向上研究会・働き方改革研究会)

開催日：平成30年10月23日(火)、会場：CSAJ会議室、参加実績：20社25名

タイトル1：RPA導入で圧倒的成功確率！「デジタルレイバー」を新戦力へと導く絶対的メソッド

講演者：池邊 竜一 氏 (キューアンドエーワークス株式会社 代表取締役社長)

講演概略：RPAの得意分野や業務の棚卸などRPA導入成功の秘訣などについて解説。

タイトル2：RPAは現場と一緒に進む業務カイゼン！(大塚商会の事例紹介)

講演者：田端 健二 氏

(株式会社大塚商会 技術本部 たよれーる戦略推進室 システム戦略課 シニアテクニカルスペシャリスト)

講演概略：RPAによる自動化を進める上で問題点や解決策などについて解説。



情報提供セミナー・説明会

法務・知財

第30回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成30年9月5日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：19社24名

タイトル1：AI/ビッグデータ時代の知的財産法 ～著作権法/不競法の平成30年改正による保護と自由～

講演者：上野達弘氏(早稲田大学法学大学院教授)

講演概略：2018年に改正された著作権法と不正競争防止法について、改正の内容を概観すると共に、その実務上の意味について解説。

タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について

講演者：村田和希氏(ブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

第31回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成30年12月11日(火)、会場：CSAJ会議室、参加実績：29社37名

タイトル1：ソフトウェア開発契約と民法改正

講演者：平野高志氏(ブレイクモア法律事務所 パートナー 弁護士)

講演概略：民法改正がなされた場合のソフトウェア開発契約における留意事項について、トラブル事例集からみる影響の考察や重要判例の紹介。

タイトル2：脆弱性対策を怠ったため重過失となった事例の研究と対策

講演者：板東直樹氏(アップデートテクノロジー株式会社 代表取締役社長)

講演概略：ベンダ側の重過失が認定された裁判事例の照会と改正債権法の影響について考察。また、現在の業務委託におけるセキュリティ契約の実態と対策項目等の考察。

タイトル3：最近の法務知財の旬な話題について

講演者：黒住哲理氏、村田和希氏(ブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

情報提供セミナー・説明会

人材

Society5.0 時代の人材マネジメント手法セミナー

(主催：人材育成研究会)

開催日：平成30年8月22日(水)、会場：CSAJ会議室、
参加実績：24社36名

講演概略：「経済産業省におけるIT人材育成政策について」と題し、経済産業省情報技術利用促進課 守谷学氏より、政府の人材育成施策について講演。さらに「働き方改革」を推進するHRビッグデータ×HR-Tech～第4次産業革命も加速する各社の共通HRノウハウ～と題し、人材マネジメント手法について、HR-Techの先駆者である明治学院大学の伊藤健二氏から講演。



サイバーセキュリティ対策と人材育成セミナー

(主催：人材育成研究会)

開催日：平成30年10月11日(木)、会場：CSAJ会議室、
参加実績：参加：26社37名

講演概略：「サイバー攻撃の動向と日本の大学におけるサイバーセキュリティ教育」と題し、東京電機大学特命教授 佐々木良一氏より、近年のサイバー攻撃の動向とそれに対する対策、さらに国内の大学における教育実態などについて講演。2017年からスタートした国家資格「情報処理安全確保支援士」の需要と必要性について、IPA 高山俊介氏より講演。



「デザイン思考を学ぼう」セミナー (共催：人材委員会・人材

育成研究会)

開催日：平成30年10月11日(木)、会場：CSAJ会議室、
参加実績：参加：27社44名

講演概略：近年話題となっている「デザイン思考」をテーマに株式会社Gloable代表取締役 樋口匠氏を講師に、イノベーションを起こすには何が必要か、思考変革できるようなワークショップを中心とした実践的なセミナーを実施。



情報提供セミナー・説明会

人材

生産性向上訓練研修講座の実施 (主催：人材育成研究会)

CSAJでは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下、JEED）生産性向上人材育成支援センター（以下「生産性センター」）の実施する、在職労働者の労働生産性向上を目的とした「生産性向上支援訓練」について、2017年度同様2018年度も事業取組団体として認定を受け、人材育成研究会主催としてCSAJ会員企業の皆様に対して、2018年7月から12月にかけて合計7講座の研修講座を開講しました。

2018年7月3日～4日	IoTを活用したビジネスモデル
2018年9月19日	組織力強化のための管理（経営層編）
2018年10月25日	AI・データを活用した営業企画手法とは
2018年11月8日～9日	組織力強化のための管理（管理者層編）
2018年11月21日～22日	IoT導入に係る情報セキュリティ
2018年12月6日～7日	成果を上げる業務改善
2018年12月20日～21日	デバイスで体験するIoT活用によるビジネス展開



第7期 iCD 活用ワークショップの実施 (主催：iCD 研究会)

第7期 iCD 活用ワークショップが下記の日程で開催されました。今期は会員企業2社に参加いただき、毎回、課題提出という中で各社熱心に取り組んでいました。

開催日：キックオフミーティング 平成30年6月29日（金） 於：CSAJ 会議室

第1回 平成30年7月6日（金） 14:00～20:00 於：多摩永山情報教育センター（合宿）

第2回 平成30年7月7日（土） 09:00～12:00 於：多摩永山情報教育センター（合宿）

第3回 平成30年7月20日（金） 14:00～17:30 於：CSAJ 会議室

第4回 平成30年8月9日（木） 14:00～17:30 於：CSAJ 会議室

第5回 平成30年8月31日（金） 14:00～17:30 於：CSAJ 会議室

第6回 平成30年9月21日（金） 14:00～17:30 於：CSAJ 会議室

テイクオフミーティング 平成30年10月26日（金） 各社1時間 於：CSAJ 会議室

ワークショップ参加企業：

株式会社TKC、株式会社ウチダ人材開発センタ

メイン講師：木田 徳彦氏（CSA 理事 株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役）

サブ講師：土田 修氏（一般社団法人iCD協会）

井上 淳氏（株式会社IPイノベーションズ）

情報提供セミナー・説明会

人材

iCD コミュニティ活動 (主催：iCD 研究会)

開催日：平成 30 年 7 月 18 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：9 社 10 名

テーマ：iCD 活用のための課題の討議 (グループワーク)

プログラム：主査挨拶 木田 徳彦 (iCD 研究会 主査、株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役)

iCD の最新情報：iCD2018 の概要、・IPA 提供 iCD 活用システムの利用について 等

平山 利幸 氏 (独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター人材プラットフォーム部 副部長)

グループワーク【テーマ】「iCD を用いた評価制度を構築する際の課題」

開催日：平成 30 年 11 月 27 日 (火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：14 社 22 名

テーマ：iCD 活用企業事例紹介 (Gold☆認証取得企業)

株式会社データプロセスサービス 常務取締役 川村 計志 氏

iCD 活用企業によるパネルディスカッション「iCD を用いた評価制度を構築する際の課題」

・株式会社オープンストリーム 取締役 村田 哲也 氏

・日本システム開発株式会社 部長 三浦 未知央 氏

・一般社団法人 iCD 協会 理事 遠藤 修 氏

その他情報交換 (2018 年度 iCD 活用企業認証について、iCD ユーザ情報交換会 等)



情報提供セミナー・説明会

国際

アリババの事業戦略～中国 EC 最大手が見据えるテクノロジーと産業の融合～

(主催：国際委員会)

開催日：平成 30 年 7 月 4 日 (水)、会場：サイボウズ株式会社、参加実績：44 社 50 名

タイトル1：アリババの事業戦略

講演者：奥村 泰志 氏 (アリババクラウド・インターナショナルグループ シニアディレクター)

講演概略：11 月 11 日の「独身の日」において、たった 1 日で約 2.8 兆円を売り上げる中国 EC 最大手のアリババ。驚異の速度で成長し続けるアリババが見据えるテクノロジーと産業の融合、そして事業戦略について紹介。

タイトル2：アリババクラウドが実現する新しい小売業 (ニューリテール)

講演者：奥山 朋 氏 (アリババクラウド・インターナショナルグループ 技術部 部長
ソリューション・アーキテクト)

講演概略：2016 年 10 月に正式発表されたアリババの「ニューリテール」戦略。オンラインとオフライン、そして物流の融合により、ひとつの産業に変革が起こる時。その時を支える様々なテクノロジーを、中国の最新事例を踏まえて紹介。

タイトル3：アリババクラウドのソリューションとパートナープログラム

講演者：三苫 周平 氏 (SB クラウド株式会社 パートナー営業部 課長)

講演概略：ソフトバンクとアリババグループが 2016 年 1 月に設立したジョイントベンチャーである SB クラウドがアリババクラウドと共に提供する様々なソリューションやパートナープログラムについて紹介。

SaaS on AWS～クラウドが実現するイノベーションとビジネスの拡大～

(主催：国際委員会)

開催日：平成 30 年 9 月 14 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：24 社 31 名

タイトル1：SaaS on AWS ～クラウドが実現するイノベーションとビジネスの拡大～

講演者：白澤 哲氏 (アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 SaaS/ISV スペシャリスト)

講演概略：アマゾン社内の IT に関する課題を解決することから始まった AWS。今回は主にソフトウェア企業を対象に、AWS で SaaS ソリューションを構築することでイノベーションとビジネスの拡大を実現するベストプラクティスを紹介。



青野国際委員長からのご挨拶



白澤氏

情報提供セミナー・説明会

技術

IT Technology のこれから – メディアが予測する次の technology とは –

(主催：技術委員会)

開催日：平成 30 年 7 月 31 日 (火)、会場：日本事務器株式会社、参加実績：52 名

タイトル：『週刊 BCN』が注目するデジタルテクノロジー – 短・中・長期に流行る技術を大胆予測 –

講演者：畔上 文昭氏 (週刊 BCN 編集委員)

講演概略：講演は、『週刊 BCN』編集部が注目するデジタルテクノロジーを列挙し、将来のビジネスにどう役立つかについて考察した。今回は実用段階に入った量子コンピュータの現状と活用したビジネス展開を含め、解説。

量子アニーリングが示す社会の未来像-今日から使える量子アニーリングマシン-

(共催：技術委員会×東北大学 大学院情報科学研究科)

開催日：平成 30 年 12 月 4 日 (火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：32 社 52 名

講演者：大関 真之氏 (東北大学 大学院情報科学研究所 准教授、量子アニーリング研究開発センターセンター長)

講演概略：量子コンピュータの開発の最新動向を俯瞰的に説明し、主に海外でのソフトウェア開発の状況も紹介するとともに、日本のソフトウェアベンダが量子コンピューティングに向けて取り組むべきことについて提言。

モバイルアプリケーション技術最新動向調査～AR/VR・UX～

(主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 30 年 10 月 18 日 (木)、会場：幕張メッセ国際会議場、参加実績：143 名

タイトル1：民主化される VR/AR ～最新動向と開発手法について～

講演者：高橋 憲一氏 (株式会社カブク R&D ソフトウェアエンジニア)

講演概略：Cardboard や Oculus Go 等の手軽な VR 実行環境、ARCore や ARKit によるスマートフォンでの AR が実現し、これまで以上に VR/AR の環境を手にする方が増えつつある現状を踏まえ、Unity 等のツールによる VR/AR 技術を導入した手軽なアプリ開発について解説。またライブコーディングにて実際に開発についても説明。

開催日：平成 30 年 10 月 18 日 (木)、会場：幕張メッセ国際会議場、参加実績：165 名

タイトル2：Voice UI のデザインと音声サービスの勘所 (ハードとソフトの両面から)

講演者：安藤 幸央氏 (株式会社エクサ 米国Google公認デザインスプリントマスター)

講演者：土器 一徳氏 (日本事務器株式会社 技術本部 技術企画部 R & Dグループ)

講演概略：講演ではスマートスピーカーを対象に VUI (Voice ユーザインタフェース) の会話デザインや設計、B2C 向け、B2B 向けサービスの考え方やノウハウといった勘所を解説。

第3回 UX クリニック (主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 30 年 11 月 21 日 (水)、会場：日本事務器(株)会議室、参加実績：3 社 5 名

メンター：安藤 幸央氏 (株式会社エクサ 米国Google公認デザインスプリントマスター)

企画概略：専門家との対話や助言から自社において UX の向上に取り組む“きっかけ”や“発想・手法”を得る機会とすることを目的に、どのようなことでも UX の専門家に無償で相談できる活動として企画。(自社以外はメンター及び UX クリニック運営事務局のみが参加する秘匿性の高い運営で実施)

情報提供セミナー・説明会

技術

実用企業が感じる AI の限界と次世代 AI への期待 (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 30 年 7 月 19 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：28 社 30 名
タイトル：ユーザー企業に聞いた、「今 AI に期待すること、5 年後の AI に期待すること」
講演者：寺田 雄一 氏 (株式会社オープンソース活用研究所 代表取締役所長)
講演概略：講師が主催する「ユーザー企業会議」でヒアリングした結果から AI を将来どのように進化し活用できるのかについて解説。

AI×IoT 時代のデジタル戦略/DX の本質 (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 30 年 9 月 20 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：21 社 25 名
タイトル：AI×IoT 時代のデジタル戦略/デジタルトランスフォーメーションの本質～今日本企業に必要なデジタルトランスフォーメーションとは何か？～
講演者：柴田 真吾 氏 (株式会社エデュテックパートナーズ 代表取締役社長)
講演概略：大手企業の IT 戦略、IoT 戦略、データ戦略などのデジタル戦略立案経験が豊富なコンサルタントが、AI×IoT 時代において必要な戦略立案の視点を事例と具体的な検討ステップを解説。

ゲームに見るエンターテインメントコンテンツへの人工知能技術の応用と課題

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 30 年 10 月 25 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：12 社 13 名
タイトル：ゲームに見るエンターテインメントコンテンツへの人工知能技術の応用と課題
講演者：長谷 洋平 氏 (株式会社バンダイナムコスタジオ 技術統括本部 技術第 1 開発本部 プログラム 3 部 プログラム 8 課)
講演概略：ゲーム開発での事例を紹介することでエンターテインメントコンテンツでの人工知能技術の応用可能性や課題について考察し、AI アシスタントに代表されるようにユーザーとのインターフェイスとしてキャラクター性を持たせるなど従来の最適化の範疇を超えた人を楽しませる人工知能の需要について解説。

Human Interface Device の進化 (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 30 年 11 月 26 日 (月)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：13 社 13 名
タイトル：髪の毛で音を感じる装置 Ontenna を世界中のろう者へ届けるために
講演者：本多 達也 氏 (富士通株式会社 Ontenna プロジェクトリーダー)
講演概略：髪の毛で音を感じる端末である Ontenna について説明。この端末がどのようにして誕生したのか、現在の開発状況やテストマーケティング、これからどのような未来を描いていきたいのかについて解説。

入門 Automated Machine Learning (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 30 年 12 月 19 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：21 社 21 名
タイトル：入門 Automated Machine Learning
講演者：中山 光樹 氏 (TIS 株式会社 戦略技術センター 主任)
講演概略：機械学習モデルを自動的に構築する「AutoML」を説明。従来の機械学習から AutoML までの道のりを紹介することで、AutoML の可能性や課題についての考察を解説。

情報提供セミナー・説明会

技術

「農業 ICT 革命」～日本の農業を魅力あるものにする ICT 利活用とは～

(主催：農業 ICT 研究会)

開催日：平成 30 年 9 月 5 日(水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：17 社 21 名

講演者：渡邊 智之 氏 (日本農業情報システム協会 (JAISA) 理事長
慶応義塾大学 SFC 研究所 研究員)

講演概略：最先端の農業 ICT の事例と現在の課題、さらに目指すべき未来の姿について講演。



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

Software ISAC 発足および活動説明会

ソフトウェア産業の課題と今後の連携-Software ISAC の設立意義と今後の活動について- (主催: Software ISAC)

開催日 1: 平成 30 年 8 月 23 日 (木)、会場: CSAJ 会議室、参加実績: 14 社 16 名

開催日 2: 平成 30 年 9 月 10 日 (月)、会場: CSAJ 会議室、参加実績: 5 社 5 名

タイトル: IoT 時代を踏まえたサイバーセキュリティの情報連携の在り方～Software ISAC 発足の意義と今後の活動～

講演者: 萩原 健太 氏 (セキュリティ委員会副委員長/Software ISAC リーダー トレンドマイクロ株式会社 統合政策担当・サイバーセキュリティ産学 連携担当シニアマネージャー)

講演概略: PSIRT Service Framework を用いた PSIRT の理解をはじめ、国内の ISAC の現状や、Software ISAC 設立の意義、今後の活動について解説。

拡がる情報セキュリティ脅威の影響と防衛対策～企業におけるサイバー対策を実例から学ぶ～ (主催: セキュリティ委員会)

開催日: 平成 30 年 11 月 12 日 (月)、会場: CSAJ 会議室、参加実績: 19 社 21 名

タイトル: 全てが繋がる時代の情報セキュリティ対策 -脅威を未然に防ぐ脆弱性対応-

講演者: 山本 扇治 氏, CISSP (S O M P O システムズ株式会社 サイバー対策部)

講演概略: IoT 機器や自動車など全てが繋がる時代の情報セキュリティへの脅威の影響を紹介し、脅威を未然に防ぐために必要となる脆弱性への対応について解説。

情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

デジタルがもたらすビジネスと市場の変革 (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：平成 30 年 7 月 31 日(火)、会場：大阪倶楽部、参加実績：35 社 71 名

タイトル1：関西における Connected Industries の推進について

講演者：森下 剛志 氏 (経済産業省 近畿経済産業局 次世代産業・情報政策課長)

講演概略：政府の取り組みと近畿経済産業局の IoT・ロボティクス等に係る取り組みについて講演。

タイトル2：デジタルがもたらすビジネスと市場の変革

講演者：中川 郁夫 氏 (株式会社インテック 先端技術研究所)

講演概略：デジタルカンパニーの事例やグーグルの自動運転の取り組みなど、デジタル時代のビジネスモデルについて解説。



元 CSAJ 会長、CSAJ フェロー、竹原氏が語る 日米中 IT 事業環境の比較と日本の針路 (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：平成 30 年 10 月 22 日(月)、会場：さくらインターネット株式会社 大阪本社

参加実績：28 社 46 名

タイトル：元 CSAJ 会長、CSAJ フェロー、竹原氏が語る 日米中 IT 事業環境の比較と日本の針路

講演者：竹原 司 氏 (株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問)

講演概略：アメリカ、中国、日本、それぞれの最新事情とその背景を民族的な特徴や考え方などから分析し、今後日本が直面するであろう多くの課題をいかに解決していくか、どこに焦点を当てるべきかについて講演。



情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

ブロックチェーンを地域産業に昇格させよう会議 第 1 回 Blockchain が創る未来 (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：平成 30 年 12 月 10 日(月)、会場：セントラファエロチャペル御堂筋、参加実績：29 社 61 名

タイトル1：ビジネスで負けない IT 人材の戦略的育成 i コンピテンシ デクシヨナリ(iCD)の活用

講演者：土田 修 氏 (一般社団法人 iCD 協会 普及促進担当 係長)

講演概略：人材育成の指針としてのツール「i コンピテンシ デクシヨナリ(iCD)」の概要と経営戦略への活かし方、導入事例、活動状況など iCD を取り巻く環境と今後の展望について解説。

タイトル2：Blockchain が創る未来

講演者：流郷 俊彦 (りゅうごう としひこ) 氏 (シビラ 株式会社 Co-Founder & CTO)

講演概略：「価値」の常識を変える Blockchain についてご講演頂きました。インターネットとブロックチェーンそれぞれの共通点と相違点を比較しつつ事例を交えながら、今後の新しい経済圏について講演。



情報提供セミナー・説明会

ビジネス拡大

採用&研修に使える全国の助成金、まとめセミナー (主催：助成金等活用研究会)

開催日：平成30年9月13日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：19社21名

タイトル1：助成金で「ヒト・モノ・カネ」を一気に解決する方法

講演者：工藤 一樹氏 (ピースフル社会保険労務士事務所 代表)

講演概略：会社経営の永遠の課題「ヒト・モノ・カネ」について、
募集採用に係る助成金の活用紹介と人材確保事例の解説。

タイトル2：2018年トレンドの助成金のご紹介

講演者：後藤 大輔氏 (株式会社ナビット コーポレート事業部)

講演概略：トレンドの助成金の紹介。

2018年度の補助金・助成金のまとめと2019年度の補助金・助成金の展望と予測セミナー (主催：助成金等活用研究会)

開催日：平成30年12月5日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：34社35名

タイトル1：2018年度の補助金・助成金のまとめと2019年度の補助金・助成金の展望と予測

講演者：横山 和志氏 (よこのやまプランニング代表、中小企業診断士
1級販売士 商業施設士 ITコーディネーター)

講演概略：2018年の補助金の説明と2019年の補助金予測、
申請の重要ポイントの解説と採択に向けたノウハウの紹介。

タイトル2：2018年トレンドの助成金のご紹介

講演者：佐々木 真悠子氏 (株式会社ナビット コーポレート事業部)

講演概略：トレンドの助成金の紹介。



第4回 BtoB マーケティングセミナー (主催：BtoB マーケティング研究会)

開催日：平成30年10月10日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：14社/21名

タイトル：BtoB マーケティングにおけるオンラインビジネス ～法人向けオンラインストアを活用した売上向上の施策とは～

講演者：畑野 登紀栄氏 (トレンドマイクロ株式会社 市場開発推進部 オンラインビジネスグループ
グループ長 シニアマネージャー)

講演概略：ご自身の異色の経歴を皮切りに、これまで行ってきた販売戦略や市場調査から得られた結果とそのアクションプランなどマーケティングの変遷と施策をふんだんに交えつつ講演。



情報提供セミナー・説明会

ビジネス拡大

第5回 BtoB マーケティングセミナー (主催: BtoB マーケティング研究会)

開催日: 平成30年12月5日(水)、会場: ファイルフォース株式会社、参加実績: 8社/15名

タイトル: BtoB マーケティング部門を0から立ち上げた! 現場社員の七転八倒ストーリー

講演者: 豊川 瑠子氏 (SATORI 株式会社 マーケティング営業部 マーケティンググループ リーダー)

講演概略: 「マーケティング経験ゼロ」の社員が、なにもノウハウのないところからマーケティングオートメーションの運用、集客施策、コンテンツ作成などを習得し、ツール「SATORI」とともに成長してきたその失敗・成功・挑戦について講演。



プログラミング教育委員会

ICT・プログラミング教育コンテンツのご紹介 (主催: プログラミング教育委員会)

2020年より小学校でプログラミング教育が必修化され、その後中学、高校でも授業内容が段階的に変更となっていきます。CSAJ プログラミング教育委員会では、学校に対してプログラミング教育を支援するため、学校・企業をつなぐハブの役割を担いたいと考えております。

そこで学校と企業をつなぐため、CSAJ 会員企業を中心に各社が保有する ICT・教育コンテンツの保有状況を確認したところ、14社より保有ありとの回答をいただき、当該コンテンツをまずは CSAJ サイトにてご紹介させていただくことといたしました。

▼ICT プログラミング教育コンテンツ

- [教材・本](#)
- [教材・製品](#)
- [出前授業・ワークショップ](#)
- [その他 \(ICT 支援員・イベントなど\)](#)

情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

「高度 IT 技術を活用した創造プログラム」研修講座

CSAJでは、厚生労働省が公募した「我が国の生産性向上のための高度 IT 技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画(平成 29 年度～平成 31 年度)」において、IoT・AI など第 4 次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を平成 29 年度から 3 年事業として実施。

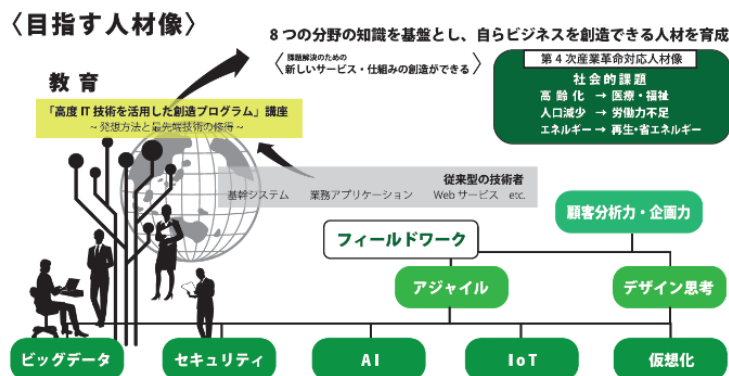
平成 29 年度に開発した研修プログラムについて、平成 30 年度は 2 回の講座を開き、計 40 名が受講。本講座は平成 31 年度も 2 回の開催を予定しており、スケジュール等が確定次第募集を行う。

■ 講座の目的

第 4 次産業革命において必須である IoT、AI やビッグデータに代表される IT 系の技術を駆使し、新たな発想（サービス企画・デザイン思考）でビジネスを創造できる高度 IT エンジニアを育成する。

■ 講座の特徴

1. 実習や実機演習中心で体験して理解する講座
2. 各分野のプロフェッショナルが作成したカリキュラム、テキストを使用する講座
3. 実際に最先端で活動されている企業を訪れるフィールドワークを実施する講座
4. イブニングや土日の講習開催で業務への影響が最小限で済むよう配慮
5. キャリアコンサルタントによる受講後の無料アドバイス



平成 30 年度第 1 回研修講座

開催期間：平成 30 年 6 月 23 日～9 月 15 日、会場：ウチダ人材開発センタ

参加実績：12 社 18 名

平成 30 年度第 2 回研修講座

開催期間：平成 30 年 6 月 23 日～9 月 15 日、会場：ウチダ人材開発センタ

参加実績：16 社 22 名



ニュースリリース

平成 30 年 7 月 18 日 (水)

「Software ISAC」の発足について

ソフトウェア産業のセキュリティ課題を連携して対応

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（東京都港区赤坂、会長：荻原紀男、株式会社豆蔵ホールディングス代表取締役会長、以下「CSAJ」）は、IoT（Internet of Things）時代に欠かすことのできないソフトウェアにおけるセキュリティの課題解決に向けて、Software Information Sharing and Analysis Center（以下「Software ISAC*1」）（リーダー：萩原健太、トレンドマイクロ株式会社）を平成 30 年 8 月に発足させ、活動を開始いたします。

平成 30 年 7 月 19 日 (木)

「PSIRT Services Framework 1.0 Draft」の日本語翻訳文書公開について

ソフトウェア製品やサービスの脆弱性管理のノウハウを邦訳

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（東京都港区赤坂、会長：荻原紀男、株式会社豆蔵ホールディングス代表取締役会長、以下「CSAJ」）は、Software ISAC（リーダー：萩原健太、トレンドマイクロ株式会社）に参画する、サイボウズ株式会社、トレンドマイクロ株式会社そして本作業の協力や調整支援を頂いた一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターの 3 組織で実施した「PSIRT Services Framework 1.0 Draft」の日本語翻訳文書を公開しました。

平成 30 年 8 月 30 日 (木)

U-22 プログラミング・コンテスト 2018 最終審査会 U-22×JJPC 合同企画パネルディスカッション「IT×教育 質問・相談室」質問募集！

U-22 プログラミング・コンテスト（略称：U-22）実行委員会と全国小中学生プログラミング大会（略称：JJPC）実行委員会は、最終審査会（2018 年 10 月 21 日（日））に、合同企画パネルディスカッション「IT×教育 質問・相談室」の実施を決定し、同時に質問の募集を開始しました。U-22 プログラミング・コンテスト最終審査会是一般聴講も可能なほか、当日の様子はニコニコ生放送でも放送予定です。詳細は公式 Web サイトを参照ください。

平成 30 年 10 月 1 日 (月)

「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」歴代最多の応募件数！

事前審査結果を発表、40 作品が一次審査へ！！

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22 プログラミング・コンテスト 2018 における歴代最多の応募 460 作品の中から事前審査を通過した 40 作品を発表しました。

今年で 39 回目の開催となる U-22 プログラミング・コンテスト 2018 は、歴代最多の応募数だった昨年（334 作品（参加者総数 1,236 名））を大幅に上回る 460 作品（参加者総数 1,570 名）の応募となりました。また、今年度 U-22 と連携している全国小中学生プログラミング大会（JJPC）では全 282 作品の応募があり、両コンテストで合計 742 作品の応募となりました。

今回の事前審査で選ばれた 40 作品の中から、10 月初旬に行われる一次審査会で 16 作品程度まで絞り込まれた後、10 月 21 日に開催される最終審査会にて、経済産業大臣賞はじめとする各賞が決まります。受賞者には実行委員会や協賛企業より提供される副賞のほか、IPA が行う 2019 年度未踏 IT 人材発掘・育成事業への推薦権など、次代のプログラマーを目指すための様々な道が用意されています。

ニュースリリース

平成 30 年 10 月 10 日 (火)

「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」一次審査結果発表！小学生から大学生までの全 16 作品が最終審査へ

U-22 プログラミング・コンテストを主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」の一次審査会を実施、審査委員による審査の結果、最終審査会へ進む 16 作品を決定・発表しました。

応募 460 作品のうち、事前審査、一次審査を経た 16 作品の入選が決まりました。2020 年に小学校でプログラミング教育の必修が予定される中、小学生から大学生まで、幅広い年齢層の作品が選ばれています。

10 月 21 日 (日)、東京・TEPIA ホールで開催される最終審査会で制作者自らがプレゼンテーションを行い、経済産業大臣賞をはじめとする各賞が決定します。なお、最終審査会は一般聴講が可能なほか、ニコニコ生放送で公式配信される予定です。

平成 30 年 10 月 15 日 (月)

新 PSQ 認証制度とソフトウェア品質向上宣言スタート

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（東京都港区、略称「CSAJ」）は、平成 25 年 6 月よりソフトウェアの品質向上のために、PSQ 認証制度を開始してまいりましたが、この度、新たな PSQ 認証制度のラインナップとして平成 30 年 10 月より、PSQ-Premium と PSQ-Lite を新設するとともに、企業認証としてソフトウェア品質向上宣言を企業に取得してもらうべく開始いたしました。今回、PSQ-Lite では、品質特性をもとに自社で製品説明（カタログなど）、利用者用文書類（マニュアルなど）の検証をすることで、自己認証としての品質評価をすることができます。PSQ-Lite を取得すると本格的に第三者検証が必要になった場合、スムーズに上位の PSQ-Standard（既設）に移行ができる制度となっています。また、PSQ-Premium は、日本工業規格から日本産業規格となり、データやサービスにおいても JIS マーク化を実施する予定となっていることから、将来の JIS マーク適用を念頭に実機によるテスト検証を実施し認証する制度です。また、これにより国際相互認証にも取り組むことができ、ソフトウェア企業の海外進出にも役立つものとなります。

平成 30 年 10 月 22 日 (火)

【速報】U-22 プログラミング・コンテスト 2018、最終審査会で各賞決定！！ 経済産業大臣賞<総合>は小 6 女子作品が受賞

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）は、2018 年 10 月 21 日 TEPIA ホールで行われた最終審査会において、入選作品 16 作品を審査、経済産業大臣賞をはじめとする各賞を決定しました。

経済産業大臣賞<総合>には「写刺繍 ～Sha-Shi-Shu～」(制作者：菅野 暁さん/早稲田実業学校初等部 6 年)が受賞するほか、各カテゴリにおける経済産業大臣賞では「サイハテドロップ」<プロダクト>(制作者：美座 天佑さん/東京工業大学 4 年)、「Lightn Renderer Engine」<テクノロジー>(制作者：藤巻 光平さん/日本工学院八王子専門学校 4 年)、「オシマル」<アイデア>(制作者：宮城 采生さん/京都市立岩倉南小学校 5 年)がそれぞれ受賞いたしました。

平成 30 年 12 月 17 日 (月)

「U-22 プログラミング・コンテスト」2019 年開催決定！コンテスト運営委託 先事業者公募のお知らせ

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、2019 年度、通算 40 回目となる「U-22 プログラミング・コンテスト 2019」として開催することを決定しました。

2018 年のコンテストでは、小学生から大学生まで幅広い年齢層から、過去最多となる 460 作品の応募（参加者総数 1,581 名/昨年対比 1.4 倍）があり、10 月に TEPIA ホールで開催された最終審査会では、小学生から大学生の幅広い層で経済産業大臣賞を受賞するなど、成功裏に終了いたしました。

このたび 2019 年の開催を決定すると共に、コンテストの更なる発展のため、Web サイト等制作・コンテスト運営などの事業者を公募する事といたしました。

報告書

U-22 プログラミング・コンテスト 2018 実施報告書 (会員限定)

2018 は「世界は君の創造次第。」をテーマに、10月21日(日) TEPIA ホールにて最終審査会を実施、各賞を決定しました。昨年対比 1.4 倍となる 460 作品(参加者総数 1,581 名)の応募から最終審査会では 16 作品を選出、盛況の中終了しました。

今回の経済産業大臣賞は、<総合>、<アイデア>の2部門で小学生による作品が受賞、身近な人の趣味から着想を得て、刺繍をサポートするアプリケーションと「好きなこと」・「趣味」から制作した押し相撲をモチーフにしたゲーム作品で、それぞれ完成度の高さから審査委員や会場内の人々を驚かせました。また、経済産業大臣賞<テクノロジー>では、フルスクラッチで作ったゲームエンジンが、<プロダクト>では JavaScript で作ったと思えぬくらい軽快に動作するアクションゲームが受賞しました。

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会では、上記結果を踏まえた「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」実施報告書を取りまとめました。



実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2018年4月～12月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計9回の委員会を開催し、付与適格決定92社（更新66社、新規40社）、個人情報事故措置22件を致しました。

2. 2018年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2018年4月～12月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	Pマーク 実質増減数
2017年 度実績	89社	53社	142社	129.1%	57社	0社	28社	25社
2018年 度経過	83社	46社	129社	90.1%	64社	1社	13社	34社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

実施事業

U-22プログラミング・コンテスト2018

U-22プログラミング・コンテストは、優れた才能を持ったイノベティブなIT人材の発掘と育成を目的に、1980年から経済産業省主催で開催されてきました。2014年に民間へ移行し、現在は、日本からイノベーションを創出するIT業界のスター、世界でも活躍していくような若者を見つけて、応援したい、そんな思いに賛同いただいた、民間のIT・ソフトウェア業を中心としたスポンサー企業が、日本の未来を創る若者を応援・支援し、開催を継続しています。

「U-22プログラミング・コンテスト2018」においては、4月1日に応募要領を公開し、7月1日から9月5日までの期間、応募を受け付けました。

全応募作品数は歴代最多の460作品（参加者総数1,581名）となり、その中から事前審査、一次審査を経て入選16作品を決定し、10月21日（日）の最終審査会で各賞が決定しました。

また、今年度は全国小中学生プログラミング大会と連携し、同日同会場で表彰式を実施、また合同企画としてヤングプログラマーズ・デイや「IT×教育 質問・相談室」パネルディスカッションなども行われました。

○応募結果

経済産業大臣賞	作品名	制作者名	ジャンル
総合	写刺繡 ～Sha-Shi-Shu～	菅野 暁	ユーティリティ
プロダクト	サイハテドロップ	美座 天佑	ゲーム
テクノロジー	Lightn Renderer Engine	藤巻 光平	その他
アイデア	オシマル	宮城 采生	ゲーム



実施事業

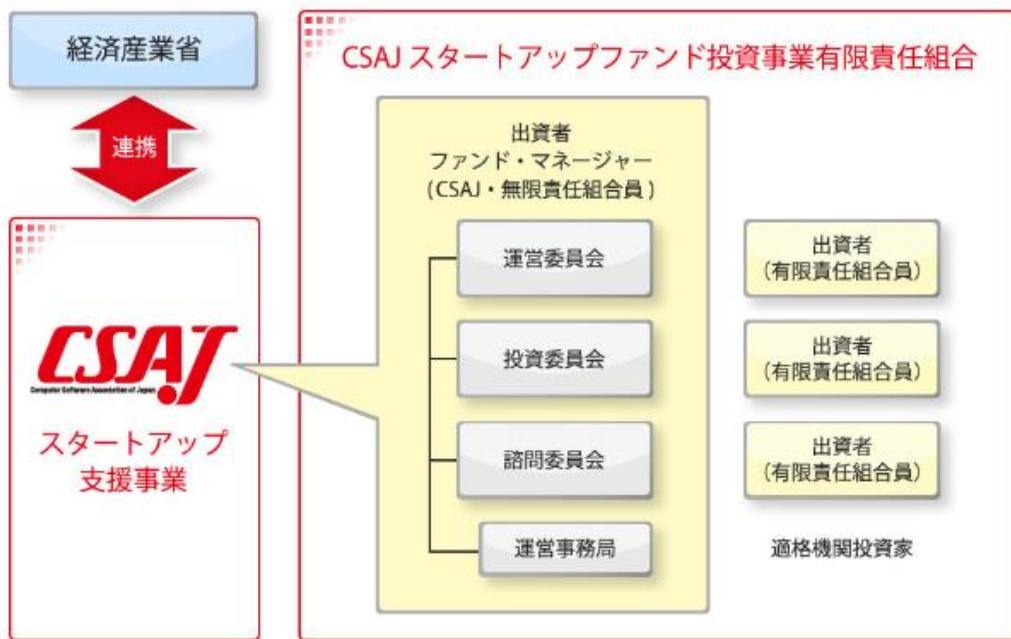
CSAJ スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJ スタートアップ支援事業」を平成27年度より開始しています。

2018年は一次募集を4月～7月、二次募集を10月～翌1月にかけて行います。

エントリー企業の累計は、64件（2015年：21件、2016年：20件、2017年：19件、2018年：3件）となっており、2018年12月末までに、投資委員会において今後の成長が見込まれる22社が選定されました。

CSAJ スタートアップ支援公式サイト <http://www.csajstartup.com/>



支援先企業 20 社（2018 年 12 月時点）



実施事業

CSAJ スタートアップ支援事業

中間発表会（CEATEC JAPAN 2018）

スタートアップ支援事業では、CEATEC JAPAN 2018 の開催にあわせて、平成 30 年 10 月 19 日（金）幕張メッセにおいて、中間発表会として特別講演及びスタートアップ企業による発表が行われました。

- 開催日：平成 30 年 10 月 19 日（金）13:00-14:30
- 会場：幕張メッセ 国際会議場（千葉）
- プログラム：
特別講演「これからの日本の成長を促進するスタートアップの条件～熱量とクリエイティビティ～」
講師：田中 邦裕 氏
（さくらインターネット株式会社 代表取締役社長、
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 副会長）
CSAJ スタートアップ支援事業の概略
笹岡賢二郎（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 専務理事）
- 発表したスタートアップ企業 3 社
 - ・株式会社ウェブエッジ
 - ・株式会社 t o r a r u
 - ・ライフログテクノロジー株式会社

【終了報告】

http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20181019_report.html



CSAJ Startup Demo Day 4th

CSAJ スタートアップ支援事業では、平成 30 年 12 月 6 日（木）「CSAJ Startup Demo Day 4th」を、東京ミッドタウン ホール&カンファレンスにおいて開催いたしました。

開催日：平成 30 年 12 月 6 日（木）13:30-18:30
会場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room

はじめに、CSAJ スタートアップ支援事業投資委員会委員長の荻原紀男 CSAJ 会長より開会挨拶があり、引き続き、経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課課長 中野 剛志 氏より、来賓ご挨拶を頂戴いたしました。

その後、CSAJ 笹岡賢二郎専務理事からの CSAJ スタートアップ支援事業の概略に関する説明に続き、支援対象として選定された 7 社によるプレゼンテーション（事業紹介・提案）と質疑応答が行われました。

発表終了後は、スタートアップ企業各社の製品・サービスを実際にご覧いただくデモブースを用意した懇親会を開催。発表後の質疑応答では確認しきれなかった製品の動作や各社のマネタイズなど、参加者からの積極的な質問に各社が対応しました。

また、従来から支援している企業 2 社も資料配布やデモブースを設け、自社の製品・サービスを紹介しました。

【終了報告】

http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20181206_report.html



実施事業

PSQ 認証制度事業



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

JIS X 25051:2016 (ISO/IEC25051:2014) の国際規格に準拠したパッケージソフト・クラウドアプリケーションの「安心・安全・高品質」の見える化を実現した制度です。会員に限らず、パッケージソフト・クラウドアプリケーションを保有するすべての企業を対象にしています。

認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証> **NEW**
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証> **NEW**

■新 PSQ 認証制度

<http://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>

1. 平成 30 年度 PSQ-Standard 認証 (更新含む)実施状況 (平成 30 年 1 月~12 月)

PSQ 認証制度 (PSQ-Standard) では以下を認証 (更新含む) しました。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-Q2018004	ウイングアーク 1st(株)	SPA	10.0	平成 30 年 9 月 21 日
PSQ-Q2018002	日本ナレッジ(株)	IVEX Xexus 統合管理版	1.0.0	平成 30 年 3 月 15 日
PSQ-Q2018001	日本ナレッジ(株)	IVEX Logger SILVER	5.4.0	平成 30 年 3 月 15 日

2. 平成 30 年 PSQ-Lite の実施状況 (平成 30 年 10 月~12 月)

PSQ 認証制度 (PSQ-Lite) では以下を認証 (更新含む) しました。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-L2018001	(株)フォーラムエイト	深礎フレームの設計・3D 配筋 (部分係数法・H29 道示対応) Ver.2	2.0.6	平成 30 年 12 月 26 日
PSQ-L2018002	(株)フォーラムエイト	UC-BRIDGE (分割施工対応) (部分係数法・H29 道示対応) Ver.2	2.1.3	平成 30 年 12 月 26 日

ソフトウェアで世界に挑む。
そんな「スタートアップ企業」を
募集します。

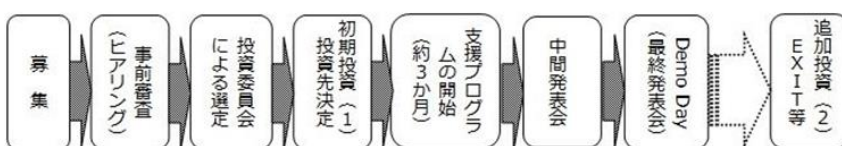
起業・創業成功者が創業者の視点で
新たなスタートアップをサポート！



CSAJ スタートアップ支援事業

2019 年度スタートアップ企業の一次募集は 4 月から

ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて 30 年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	一次募集 2019 年 4 月 1 日～2019 年 7 月 31 日 二次募集 2019 年 10 月 1 日～2020 年 1 月 31 日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表、EXIT 等までの流れ 
CSAJ ファンドからの出資	(1)シード期の初期投資：300 万円を想定（取得株式：5～10%を想定） (2)成長の期待できる企業への追加投資：1,000～5,000 万円を想定（取得株式比率は相談）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：中野、山田 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/> ）をご覧ください

U-22 プログラミング・コンテスト



U-22 プログラミング・コンテスト 2019 スポンサー企業、応援団大募集！

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、2019 年度、通算 40 回目となる「U-22 プログラミング・コンテスト 2019」として開催することを決定しました。

2018 年のコンテストは幅広い年齢層から、過去最多となる 460 作品の応募（参加者総数 1,581 名／昨年対比 1.4 倍）があり、10 月に TEPIA ホールで開催された最終審査会では、小学生から大学生の幅広い層で経済産業大臣賞を受賞するなど、成功裏に終了いたしました。

現代ではあらゆる産業で IT 技術・プログラミングが必要とされ、すべてのサービスがプログラミングによって進化しています。また、日本でも 2020 年から小学校でプログラミング教育が必修化され、その後、中学校、高校においても段階的に「情報教育」分野の指導要領改訂が予定されています。近年そういった社会的背景も後押しに、「プログラミング」に注目が集まっていますが、しかし一方で、まだ日本における「IT エンジニア」の地位は高いとは言えず、優秀な人材が海外に流出していくことも少なくありません。

当コンテストはこれからの日本の未来の IT を活用して創っていく、若者を応援するコンテストです。コンテストを通じて、日本の若者を一緒にサポートしていただく企業様を広く募集していますのでご興味のある企業様は問合せ先に記載のある事務局までご連絡をお願いします。

▼参考：コンテストの様子

[U-22 プログラミング・コンテスト 2018 公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2018 最終審査会 \(Movie\)](#)

※会員限定ファイルは閲覧に会員共通ユーザ名、パスワードが必要です。



公式 Web サイト

【スポンサー一覧】

内容／ランク	プラチナ 300 万円	ゴールド 200 万円	シルバー 100 万円	ブロンズ 50 万円	応援団(小口) 5 万円
1.実行委員会への参加	○	○	-	-	-
2.審査委員会への参加	○	○	-	-	-
3.企業賞の実施	○	○	-	-	-
4.最終審査会 CM 枠提供	○	○	-	-	-
5.表彰式・懇親会参加	3 名まで	2 名まで	2 名まで	1 名まで	-
6.パンフ・ノベルティ等の配布 ※最終審査会	○	○	○	○	○
7.制作物への社名掲載 (Web、DM、ポスター等)	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	△ Web 社名掲載
8.会社見学会の実施	○	○	-	-	-

※その他ランクに応じて様々な特典があります。



品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が、国産既製ソフトウェア製品の品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 を評価基準として参照して構築した品質認証制度です。認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証>
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<http://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq_info@csaj.jp

ソフトウェア品質保証宣言 「ソフトウェア品質向上宣言」申請企業募集中！

自社のソフト開発に対する品質への取組をアピールするなら！

CSAJ では、ソフトウェア開発企業が自社で開発目標を掲げ、高品質な製品提供ができるような基準を持って、製品出荷を実施（予定含む）する品質向上に向けた自社の活動を宣言書に基づき宣言し、取引先や見込み顧客に向けて自助努力を説明しやすくすることを目的としたソフトウェア品質向上宣言を開始しました。品質宣言条項（フォーマット）への記載と提出のみで証明ロゴマークを提供しますので Web サイト、カタログ等で積極的なアピールに活用可能です。

http://www.csaj.jp/activity/project/SW_Declare/index.html

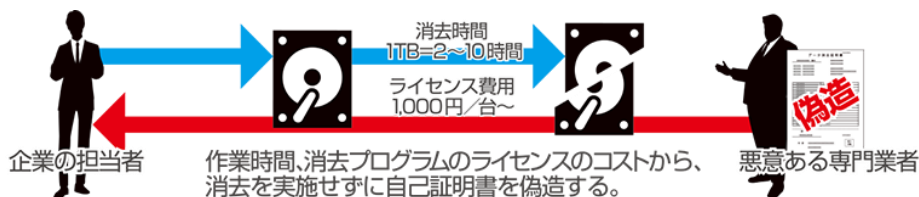


データ適正消去証明書発行事業



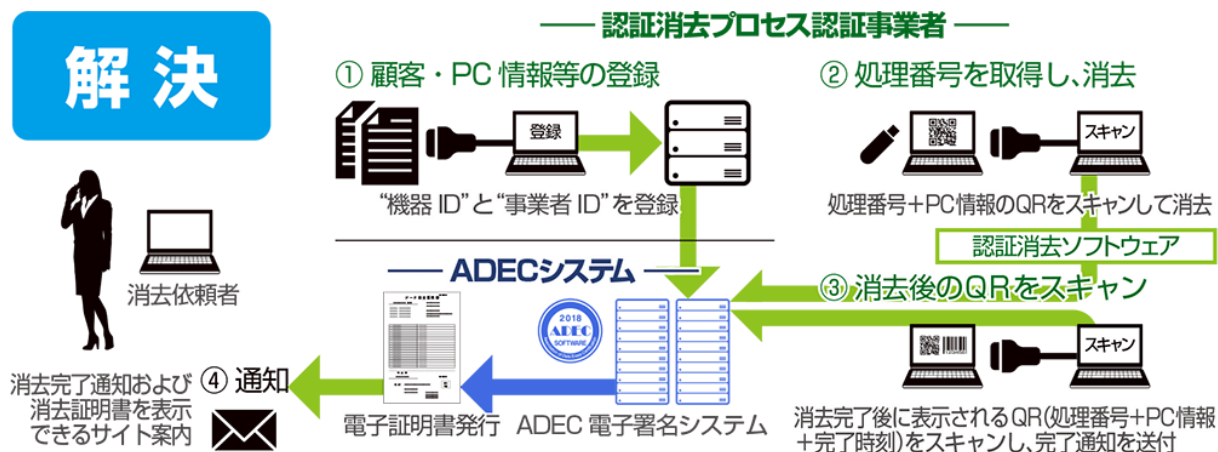
データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓蒙を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。一般社団法人コンピュータソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現を目指していきます。

問題



消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。

解決



第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

CSAJ 会員限定 サテライト・オフィス

CSAJ サテオ

CSAJ サテオとは？

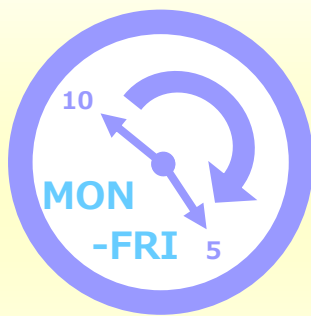
会員向けに提供しているコワーキングスペースです！3階会議室に隣接していますので、セミナーの前後などで便利にお使いいただけます。

向かい合わせのソファ席や打合せにもご利用可能な大きなデスクもご用意しております。もちろん、Free Wifi や電源がご利用いただけます！

CSAJの「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

会員の皆様のサテオご利用を心よりお待ちしております。

<利用概要>



※但し、CSAJの営業日に準じます



※CSAJ 会員限定
※予告なく終了する可能性があります

詳細は会員専用 Web ページをご参照ください (閲覧にはID とパスワードが必要となります)

<http://www.csaj.jp/member/coworkingspace.html>



CSAJ 活動 Pickup

2018年7月～12月

2019年2月1日発行

 **Computer Software Association of Japan**
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440
FAX : 03-3560-8441
<http://www.csaj.jp/>